

第三十一回句会 俳句

【高点句】

- ☆愛犬の眼はふらここの主を追ひ 一馬
☆ふらここに父を待ちたる夕べかな 一馬
☆ふらここや記憶の彼はよく笑ひ 明美
☆花の塵蹴散らし五十メートル走 明美

【各自一句】

- ・行く先に我待つごとし花盛り 安津子
・鞆や百回こいで満足す 莫院
・糸柳散歩の肩に触るるほど 真澄
・雨降りて静かに進む桜狩 青蛙
・居間に射す日は退いて春惜しむ 一馬
・花三分異国の人も道後の湯 千恵
・新宿門大木戸門と花万朶 一馬
・背中押す風花びらも我も舞う 撫子
・昨日より今日よりも明日柳青む 明美
・ひと雨で桜ふぶきのまだら道 童心

*以上、30句(3句ずつ10名)より、選句は12名により4句ずつ

*高点句は、高得点の句より3句(今回は、第1位が同点で2句、第3位も同点で2句)

*各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による(得点順ではなく、俳句一覧表に

偶然記載された順に掲載)